

# 停電時でも汚水の処理機能を確保 (愛知県西尾市)

事業者：愛知県

I-1 大規模な浸水、土砂災害、地震・津波等による被害の防止・最小化



増設非常用発電設備 (3,000kVA)



既設非常用発電設備 (1,000kVA)



I-2 救助・救急、医療活動などの災害対応力の確保

**対策名：**No.11 全国の下水道施設の電力供給停止時の操作確保等に関する緊急対策

**事業名：**矢作川浄化センター非常用発電設備増設事業

- ポイント**
- 3か年緊急対策により非常用発電設備の能力を増強
  - 停電時においても継続的かつ安定的に機能を確保

## 地域の概要・課題

矢作川浄化センターは岡崎市、豊田市、安城市、西尾市、幸田町の約75万人の汚水を広域的に処理している下水処理場です。

近年の災害において長期間の停電が発生する中、当処理場の非常用発電設備等は十分な能力がなく、電源が喪失した場合でも汚水処理を継続するための機能増強が必要となっていました。

## 事業の概要

停電時でも汚水の処理機能を確保できるよう、3か年緊急対策として、発電能力を4倍に引き上げるとともに運転時間を最大48時間まで確保するため、非常用発電設備の増設や燃料タンクの増強などを実施しました。

## 〔同様の対策の効果事例〕

千葉県木更津市の木更津下水処理場（処理区内人口約7万人）では、令和元年房総半島台風により約52時間停電が発生しましたが、非常用電源設備を設置していたことから、停電期間中も継続して運転し、汚水処理機能を確保することで、市街地での汚水溢水等を防ぐことができました。



位置図



非常用発電設備

I-3 避難行動に必要な情報等の確保